

世はアンチエイジングの時代。年齢や経験の積み重ねで磨きあげた“成熟からなる美しさ”で輝く女性たちをご紹介します。

THE BEST OF ME

～最高の自分を写真で記録する～

She's Story 50歳の記念に、まずは苦手な写真撮影にも挑戦してみました。



今月の『大人記念美写真』にご登場いただいたのは、薬剤師として市内の調剤薬局に勤務する宮之原 麻里さん。県の薬剤師会の常務理事も務めるベテランの薬剤師さんです。

「50歳の記念に…」と仰る麻里さんにお話を伺うと、穏やかな口調からの印象とは違って、その人生の波瀾万丈なこと！数々のエピソードに驚かされながら、だからこそ何事にも動じない、しなやかさを育まれたのでは？…と感じました。

一番大きな出来事は、福岡の大学の薬学部で知り合い、同郷ということもあって意気投合したご主人と、大学卒業後にご結婚。お互い薬剤師として働きながら、ご長男を出産し、マイホームも建設中だったある日、ご主人が不慮の事故で他界されたこと。結婚して2年8ヶ月、息子さんがまだ11ヶ月の時でした。若くして、シングルマザーとなった麻里さんを公私ともに特に支えてくれたのは、病院を経営なさっているご主人のご両親やご兄弟、ご親族の方々。ご主人の他界後も、毎年ご両親は、夏はディズニーランドに連れて行ってくださったり、お子さん共々とても可愛がってくださったのだそう。またお義姉さまとても面倒見が良く、エステWAMとの出会いは、そのお義姉さまがお薦めくださったことがスタートでした。

「むくみや肩こりがひどくて、主に疲れを取りに通っています。サロンではいつもギョウと絞られる(笑)」(麻里さん)

色白の美肌はもちろん、実身長(156cm)より背が高く見えるのは、日頃のメンテナンスの成果でもあるのでしょう。WAM歴23年と聞いて納得です。とても良くお似合いのドレス、実は色も形も全く予想外だったのだとか。いつも寒色系のハッキリした色合いの服が多く、ドレス選びの時も、黒、青、バイオレット、ワインレッドという着慣れた色の中から迷われていたのだそう。

「どれも無難な感じで、悪くはなかったんです。そんな中、たまたまこのドレスを試着したら、同席したスタッフの皆さんが満場一致でコレが良いと。普段、全く着ない色でしたし、まさか肩や胸元をこんなに出すことになるとは思いませんでした(笑)」(麻里さん)

透き通るような肌だから着こなせる色。また、いつも着られていた寒色系よりも暖色系の方が、実は似合うということが判明。ヌーディーな色なので、その分、メイクでしっかり引き締めるのがポイント。また前日のボディケアで、さらに磨きをかけて挑まれました。

「写真が苦手で、減多に撮らないし、撮ろうと言われると逃げまわっているんですけど、今回は、50歳の記念にと一大決心をしました」と麻里さん。この撮影のことは誰にも話さず、一人でお決めになったのだそうです。

「義姉にはきっと「なんで相談してくれないの」と怒られますね(笑)。それ位、面倒見の良い人だから。いつも義母に、義姉と私は見た目と中身が正反対ねと言われるんです。話し好きで豪快なイメージの義姉は、実は臆病なところがあって、その反対で、私はおとなしく見られるんですが、一人でどこへでも出掛けます。そんなタイプに見えないらしい。今回のこともびっくりするはず(笑)」(麻里さん)

お忙しいお仕事の間を縫って、バレエストレッチや手話のサークル、お花等の習い事にも通っているという麻里さん。忙しいからこそ、職場以外の環境に身を置いていたのだそう。

「息抜きはエステWAMとお稽古事です。昔から、エステWAMの坂元社長は憧れの存在。お目にかかるたびに、年々若く綺麗になられるようで、ずっと目標として追いかけています」(麻里さん)

今回も、素敵に年齢の重ね方を証明する『大人記念美』となりました。



宮之原 麻里さん(50歳)

Mari Miyahara
薬剤師

●Hair 担当●
AgeeWAM 鹿児島店
衣装協力:丸屋プライダル

今月のanne
anne by colette

anne(アンヌ)はcoletteの
お姉さんの存在です